

学校づくりのビジョンを共有する コミュニティ・スクールを創る

8月始まりのコミュニティ・スクールの構築

柏市立富勢(土)小学校
校長 梅津 健志

自己紹介

- 野田市立宮崎小学校
- 流山市立東深井小学校
- 柏市立中原小学校

水泳部市内大会3連覇 陸上大会優勝

- 柏市教育委員会指導課

林間学校に保護者16名の協力で、コース別体験を設定
海外日本人学校とオンライン交流
第2回インターネット活用コンクール総務大臣賞
小学館教育技術4年生学級経営年間連載
柏市学校図書館指導員制度設立
柏市学校図書館電算化&柏市立図書館データ相互閲覧化

- 柏市立柏第八小学校教頭
- 柏市立柏第一小学校教頭
- 柏市教育委員会教育研究所統括
- 柏市教育委員会指導課長
- 柏市立酒井根東小学校校長

柏市教員免許更新講習の立ち上げ
柏市管理職研修の立ち上げ
柏市学びづくりフロンティアプロジェクトの立ち上げ

- 千葉県教育庁教育振興部学習指導課学力向上室主幹

放課後子ども教室 地域人材による夏休み体験教室立ち上げ

- 千葉県教育庁教育振興部学習指導課義務教育指導室主幹

千葉県学力向上プラン「ダブルアクション+One」
ちーテレスタディーネット考案実施

- 放送大学大学院現職入学 CS研究

- 柏市立土小学校校長

コミュニティー・スクール立ち上げ

- 柏市立富勢小学校校長

地域と一体となる教育課程の創造に挑戦中……

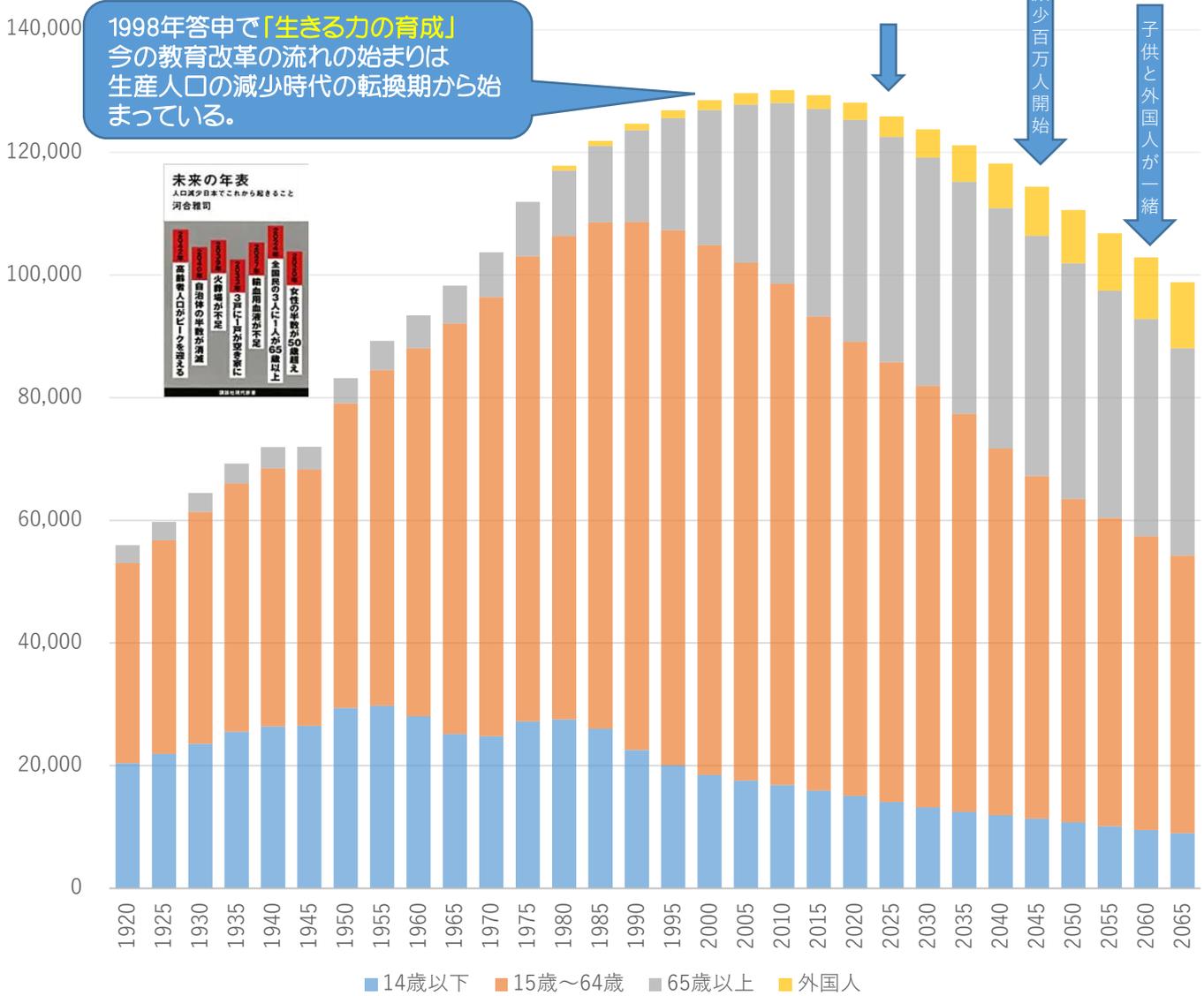
説明の前に・・・校長として

教育とは、子供の**今**を育て
未来（社会）を創ること

保護者・地域の皆様と協調し協力し
教育活動を行うことは 未来の地域を創ること

子供たちが大人になる社会

日本人口推移推計（外国人入）



教育という仕事は、未来の社会を創る仕事。学校教育を見る時、人々は自分が受けた教育と比較してしまう。それが間違い。未来がどうなるのか、人口推移から見るとよくわかる。世界の人口は増えている、しかし先進国の人口は減っている。日本の人口減少は中でも特に顕著で、世界に類を見ない。

2060年には、生産人口が今の半分、子供の人口が1千万を下回り、在留外国人が1千万を超える。その時、今の小学生は、47歳から53歳。

今学習指導要領では、「生きる力」をつけると言われている。生きる力とは・・・自分で生活の中から課題を見つけ、課題の解決方法を考え、試行錯誤しながら、課題解決に向けて、他者と協働しながら、粘り強く取り組んでいく力。

生きる力＝仕事の時に必要な力

言われたことを言われた通りに行う人材は必要ない。AIが着実確実にこなしてくれる。AIを使っていく力がこれからの力。私たちが受けてきた教育とは違う。

新学習指導要領 学力観

正 解



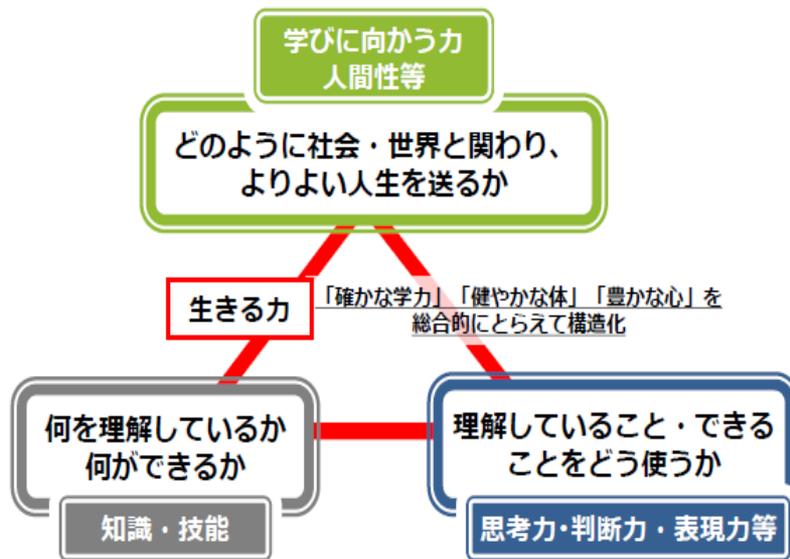
納 得 解



何度やっても、同じ場所に同じピースを入れられる、ジグソーパズルを解く力は、昔の学力。
ピースの種類は違うが、組み合わせ方で様々な形にできることを知り、状況に合わせてピースを組み変えていく、レゴブロックを使いこなすような力がこれからの学力。

1. 新学習指導要領が求める資質・能力

新指導要領が育成を目指す資質・能力の三つの柱



主体的対話的に
取り組む

課題に
対して

主体的

自分で考えてより良いことを行う。
子どもに任せながら教えること

自主的

先生に言われなくても行う

積極的

先生に言われて一生懸命行う

コロナ禍によってわかった、今までの教育の間違い

学校が休校すると、子供たちの学びも止まってしまった。

子どもは空っぽのコップで、そこに知識を流し込むと入っていく。は、間違い。

自分からやってみたい、知りたい、そういう動機があって初めて学びが成立する。動機が明確ならば、子供は一人でも学んでいく。

これからの授業（社会）



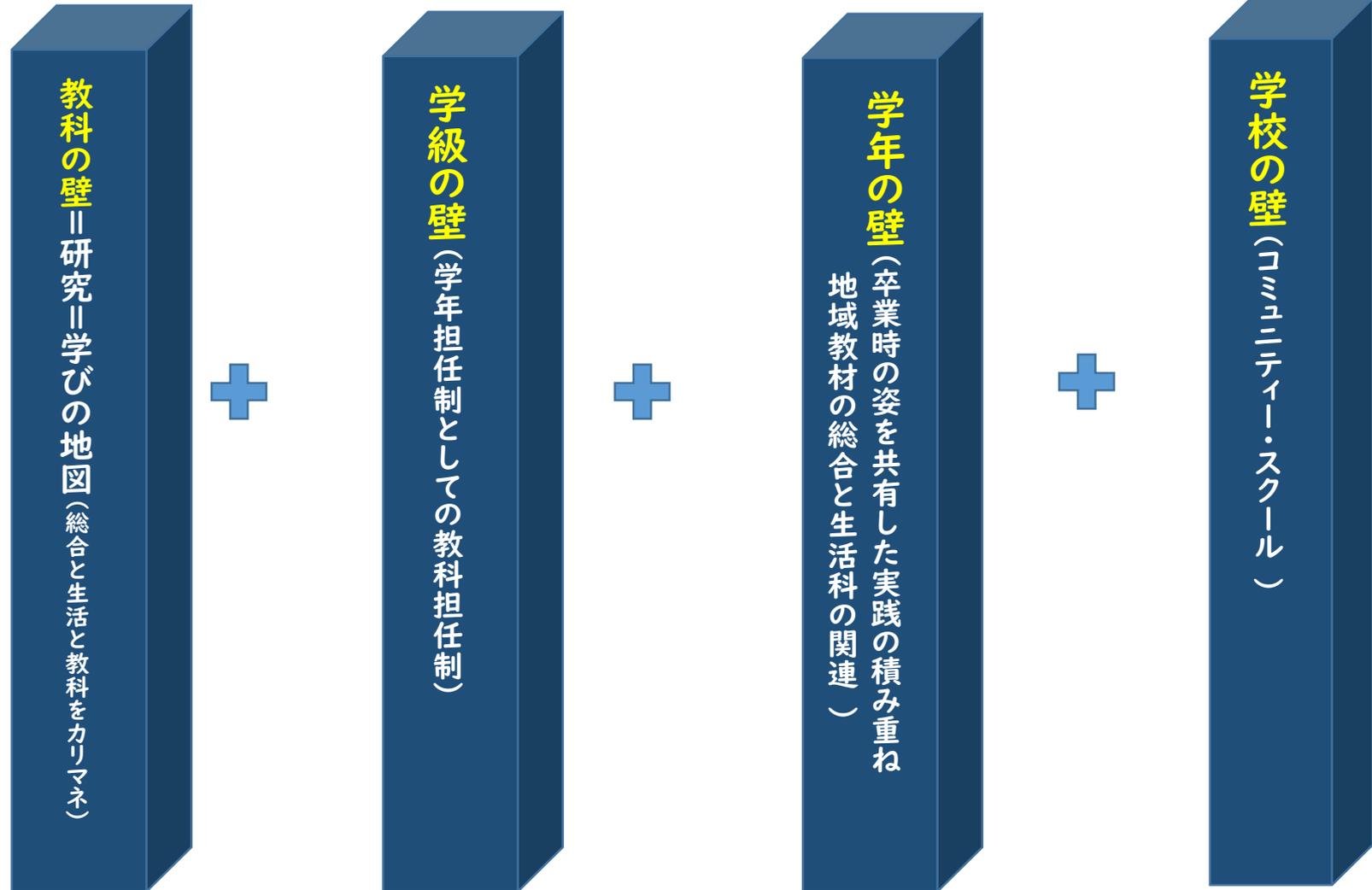
これまでの社会（授業）：レガッタボート



これからの社会(授業):ラフティング

レガッタボートでゴールが見えているのは、最後尾にいるリーダーだけ。リーダーの言う通りにオールを漕ぐとゴールする。
ラフティングは全員がゴールを向いて、最後尾のリーダーを尊重しながらも、自分で流れを見て考えてオールを動かしていく。

新しい学校に向けて変革と創造に資する 4つの壁



学校運営協議会の役割と機能を明確に

• 学校運営協議会の機能

- **校長が作成する学校運営の基本方針を承認する**
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができる

なんちゃって コミスクにならないために・・・

経営方針＋学校課題＋育む資質・能力を共有することが大切

カリキュラムベースで地域と共有し 地域と共に教育活動を行う

• 地域と共にある学校運営に欠かせない機能

- 熟議 熟議をしっかりと行える環境
- 協働 とりあえずやってみる行動力のある協働
- マネジメント 年間開催回数7回以上が効果をあげている協議会

2022年8月19日
総合単元計画を第1回運営協議会に説明し経営方針の承認とし、スタートする。

2022年2学期～
土地域を教材とした総合・生活科を展開し、地域と共に教育活動を展開する

2021年4月
職員熟議で本校卒業時に目指す姿（資質・能力）を決める

2022年6月18日
総合単元案を土地域の方々に示し、様々な策や案をいただく。

2022年11月
参観週間を設定し、子供たちの姿から成果と課題を見出す

2021年
卒業時に目指す姿（資質・能力）を意識した実践を行う

2022年5月6日
総合単元開発のために、土地域の課題や魅力を6年生が伺う

2023年2月
目指す姿の見直し、単元の部分修正を学校と地域とが協働で行う

2021年12月
ミニ集会
目指す姿の実現に向けて地域ができること

2022年4月
目指す姿を見直す
4つに絞られたものを、新教員と運営委員会準備会メンバーで見直し、ランドデザインとする

2022年2月
目指す姿を見直す
9つから4つに絞る

子どもにつけたい力をつける 「そのために何ができるか」熟議！



グループから
1つ
案
を
出して
もらう



2021年度 土小 学校経営グランドデザイン

学校教育目標 自ら学び 心豊かで たくましい 土っ子の育成

めざす児童像 かしこく やさしく たくましく やり抜く子

中期目標 3年後に実現したい学校像
地域と共に教育課程を共有し、目指す子どもの姿の実現に向け、学校と地域が一体となって教育活動を行う学校。

短期目標 21年度末に実現すること

土小の職員が目指す児童の姿を共有し、3つの新を通して新たな2022カリキュラムができる。
土小学校運営協議会を設置し、地域も学校と共に、目指す児童の姿を共有する。
を実現すること。

卒業時に目指す姿

かしこく

- ・学んだことを、生活や社会の中で活かせる【Concept 振り返り】
- ・問題や課題の解決に、粘り強く取り組む【Challenge 粘り強さ】
- ・多様な手段を目的に応じ活用することができる。(ICT、図書、新校舎設備、外部人材)

やさしく

- ・他者のことを知ろうとしたり考えたりできる
- ・異年齢の人と積極的に関わり、困っている人を助ける【Communication 協働】
- ・多様な価値観を認め合うことができる

たくましく

- ・自分で目標を持ち、調整しながら進み続ける【Control 自己肯定】
- ・何度も挑戦し、トライ&エラーで新しい方法を見つける
- ・悩んだ時に前向きに解決に向かうことができる

経営重点手段 3つの新

新学習指導要領に沿った土小教育課程、教科横断的な計画を創る
新しく生まれ変わった校舎と教育設備(GIGAスクール等)を生かした実践を創る
新型コロナウイルス感染予防対策から、「できない」ではなく「できる」を探す

目指す教師像

目指す資質・能力を育むために
チームで考え
チームで行い
チームで振り返る

具体的取組み

	学びプロジェクト	心プロジェクト	絆プロジェクト	健康プロジェクト
実現手段	1 新土小カリキュラム創り 総合的な学習の時間を再構築し「土っ子学びの地図」をリニューアルする	1 新土小カリキュラム創り 身に付けさせたい生活習慣を明確にした月の生活目標を、全職員の共通理解を通して実践し反省を通して、年間計画に位置付ける。	1 新土小カリキュラム創り 児童に身に付けさせたい力を明確にし、児童・保護者・学校がそれに向けて共働できる学校行事を企画運営する。	1 新土小カリキュラム創り 新しい学習評価のねらいを共有し、コロナと長寿命化工事で低下した体力の向上を優先とした、新しい体育の単元作りを開発する。
	2 新環境の活用に挑戦 3面ホワイトボードを活用した実践を職員間で共有する。 1人1台端末による、個別最適化された学びの実現に向け、授業での活用場面を増やしていく。 外部人材、学区のリソースを活用した実践を増やし共有する。	2 新環境の活用に挑戦 開放型の校舎となり、授業中の音に対する配慮を学年に応じて指導する。 多くの人使いやすい設計となっている新校舎において、多様な人との関わり合いの大切さの指導を日々行う。	2 新環境の活用に挑戦 オンラインも取り入れたハイブリッド型の学校行事を企画していく。 広い空間で換気も十分にできる、第4校舎の多目的室を活用した、児童の話し合い活動を定期的に行い活かしていく。	2 新環境の活用に挑戦 1人1台端末を活用し、デジタルによる記録の蓄積と技能の習得をサポートする。 マスクの着用や換気が必須となるため、夏場や冬場の服装や過ごし方など自分で判断するように指導する。
	3 新型コロナに負けないチーム力 制限のある学習内容でも、新しい学習活動の展開を模索し、実践し、共有(Teams等)し続ける。	3 新型コロナに負けないチーム力 「土っ子エイト」の約束を1人1人が守って生活できるよう、全職員が全児童へ日々の言葉かけを続ける。	3 新型コロナに負けないチーム力 学校行事全般においては、全職員が一人称視点で議論し、透明性を持って共働していく。	3 新型コロナに負けないチーム力 新しい生活様式を踏まえ、発達段階に応じた体力及び健康意識の向上に向けての取り組みを展開する。
目指す成果・効果	実践しながら修正し、みんなでつくりみんなが実践する2022年 年間指導計画の作成 実践しながら検証し、実効性のある、学校図書館&GIGA&ICT+新教室活用マニュアルの作成 学校運営協議会に対して、全職員がコーディネート・ネットワークの構築(コミュニティースクール)			

2022年度 土小 学校経営グランドデザイン

学校教育目標 **かしこく やさしく たくましく やり抜く子** の育成

中期目標 3年後に実現したい学校像

地域と共に教育課程を共有し、目指す子どもの姿の実現に向け、学校と地域が一体となって教育活動を行う学校。

短期目標 22年度末に実現すること

土小の職員と学校運営協議会が目指す児童の姿を共有し、各学年で1単元は、カリキュラムに位置づいた教育実践を実行し、DCAPサイクルを通して新たな2022カリキュラムができる。

目指す子どもの姿

自分を知り、自分を表現する

【Control 自己肯定感】

他者を認め、他者と助け合う

【Communication 協働】

目標をもって、調整しながら、粘り強く取り組む

【Challenge 粘り強さ】

学んだことを、実生活や実社会で活かす

【Concept 振り返り】

経営重点手段 3つの**新**

新しい環境を活かす

- ・新校舎&GIGA環境を活かす
- ・Withコロナ&ペーパーレス

新しい体制を使って工夫する

- ・目標を共有したコミュニティ・スクール体制
- ・学年担任制&教科担任制の導入
- ・プロジェクト型を活用した業務改善

新しい教育課程を創る

- ・学びの地図2022に結びつけるカリキュラムマネジメント

目指す教師像

- ・目指す資質・能力を育むために
- ・前例に捉われない実践力
- ・他学年や地域と協働する実行力

具体的取組み

A 学習プロジェクト

- 新しい環境を活かす**
 - ・1人1台端末や3面ホワイトボードを利活用した学び方を共有する
 - ・新校舎(開放型教室や共創型空間)を活用し「学級や学年の壁」を超越した個別最適化された学び・協働的な学びの展開を推進する
- 新しい体制を工夫する**
 - ・コミュニティ・スクール元年として全教育活動において地域人材や環境を活かし「学校の壁」を越えたシームレスな学びを展開する
 - ・「学年担任制」及び「教科担任制」を段階的に導入して 教職員の専門性や相互連携を高めることで学び力の向上を図る
- 新しい教育課程を創る**
 - ・総合的な学習の時間 及び 生活科を中心に据えた教育課程を再構築して「土っ子学びの地図2022」として更新する(カリキュラム・マネジメント)
 - ・研究主題:「『いかす』学び」・副題:「オーセンティックラーニングを通して」を題とした校内研究において、リアルな教材や環境に主眼を置くことで実生活や実社会で生きて働く力をつける学びの【在・材・財】を蓄積する

B 生活プロジェクト

- 新しい環境を活かす**
 - ・Withコロナにおける「地域や保護者に開かれた学校」の価値を再確認して積極的に学校生活を公開していく(リアル×オンラインの積極的併用)
 - ・新校舎や各種行事を活かし 同学年や異学年集団のかかわりの場を増やす
- 新しい体制を工夫する**
 - ・教職員間:teams 保護者:LINE(つながる連絡)システムを導入し、従来の連絡・連携の在り方を見直して「ペーパーレス」や「双方向」を推進する
 - ・「学年担任制」及び「教科担任制」を段階的に導入して 児童の多面的な理解や支援を深めることで 多様な他者と協働できる体制を構築する
- 新しい教育課程を創る**
 - ・校内・校外行事のねらいを再度見直して【卒業時にめざす4つの姿】と結びつけることで、児童・保護者・地域・教職員間で目標が共有された行事を推進する
 - ・学習と生活を両輪かつ一体ととらえ 学習を通して生活習慣や人間性を育んだり共感的人間関係を基盤とした学び方を重視したりする
 - ・児童が自己選択や自己決定ができる場を意図的・計画的に設定する

実現手段

目指す
成果・効果

実践しながら修正し、みんなでつくり、みんなが実践する2023年 年間指導計画の創造する
学校運営協議会に対して、全職員がコーディネート・ネットワークの構築を図る(コミュニティスクールの機能を創る)



みんなで語ろう！

地域と 共に創る 学び 2022

教育ミニ集会

SchoolとAreaのCollabo

土を舞台にした学習をみんなで創りましょう！

場所：柏市立土小小学校 体育館 柏市増尾4-4-1

6月18日 土14:30~16:00

土小PTA・土地域町会・土地域事業所の皆様

お一人様でもご参加ください
土小はコミュニティースクールに向けて動き始めます

第1部 14:30~15:00
「コミュニティースクールって何？」
校長 梅津 健志

第2部 15:00~16:00
「学校から ○年生でこんな取組みをします
地域から こんな支援できますよ どうですか」
学年別ワークショップで学習づくり

お問い合わせ 柏市立土小ミニ集会事務局 教頭

TEL 04-7172-4805

申込フォーム <https://forms.office.com/r/D9BpKtZz>
右側のQRコードからアクセスできます



2022年6月18日
総合単元案を土
地域の方々に示
し、様々な策や
案をいただく。

2022年5月6日
総合単元開発の
ために、土地域
の課題や魅力を
6年生が伺う

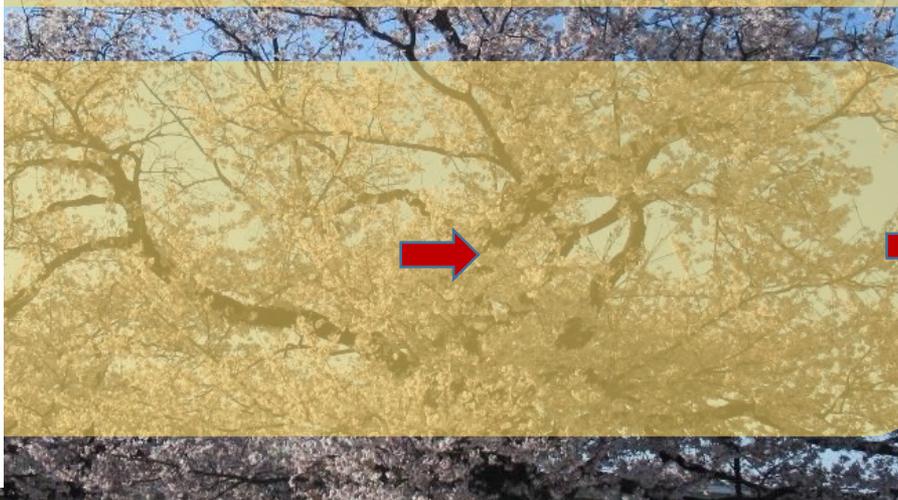
2022年4月
目指す姿を
見直す
4つに絞ら
れたものを、
新教員と運
営委員会準
備会メン
バーで見直
し、グラン
ドデザイン
とする

2022年2月
目指す姿を
見直す
9つから4
つに絞る

2021年4月
職員熟議で本校
卒業時に目指す
姿（資質・能
力）を決める

2021年
卒業時に目指す
姿（資質・能
力）を意識した
実践を行う

2021年12月
ミニ集会
目指す姿の実現
に向けて地域が
できること



学習指導要領前文

これからの時代に求められる教育を目指していくためには、
よりよい土小学校の教育を通してよりよい土地を創る
 という理念を土小学校と土地域とが共有し、
**土小学校において、必要な学習内容をどのように学び、
 どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを、**
**土小学校の教育課程（年間カリキュラム）において明確
 にしながら、土地域との連携及び協働によりその実現を
 図っていくという、**
社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

今日は、地域の方+保護者+教員で
 2学期以降の総合的な学習&生活科 こうやってみるか！

土地域と関わる学習

それはなぜなのか
 若者たちの意識が危ない...

■ 日本の危機感-1
 国土交通省国土政策研究所調査より
 (注) 1. アフリカ・中南米に注力
 2. 中国・東南アジアに注力
 3. 中国・東南アジアに注力
 4. 中国・東南アジアに注力
 5. 中国・東南アジアに注力
 6. 中国・東南アジアに注力
 7. 中国・東南アジアに注力
 8. 中国・東南アジアに注力
 9. 中国・東南アジアに注力
 10. 中国・東南アジアに注力
 11. 中国・東南アジアに注力
 12. 中国・東南アジアに注力
 13. 中国・東南アジアに注力
 14. 中国・東南アジアに注力
 15. 中国・東南アジアに注力
 16. 中国・東南アジアに注力
 17. 中国・東南アジアに注力
 18. 中国・東南アジアに注力
 19. 中国・東南アジアに注力
 20. 中国・東南アジアに注力
 21. 中国・東南アジアに注力
 22. 中国・東南アジアに注力
 23. 中国・東南アジアに注力
 24. 中国・東南アジアに注力
 25. 中国・東南アジアに注力
 26. 中国・東南アジアに注力
 27. 中国・東南アジアに注力
 28. 中国・東南アジアに注力
 29. 中国・東南アジアに注力
 30. 中国・東南アジアに注力
 31. 中国・東南アジアに注力
 32. 中国・東南アジアに注力
 33. 中国・東南アジアに注力
 34. 中国・東南アジアに注力
 35. 中国・東南アジアに注力
 36. 中国・東南アジアに注力
 37. 中国・東南アジアに注力
 38. 中国・東南アジアに注力
 39. 中国・東南アジアに注力
 40. 中国・東南アジアに注力
 41. 中国・東南アジアに注力
 42. 中国・東南アジアに注力
 43. 中国・東南アジアに注力
 44. 中国・東南アジアに注力
 45. 中国・東南アジアに注力
 46. 中国・東南アジアに注力
 47. 中国・東南アジアに注力
 48. 中国・東南アジアに注力
 49. 中国・東南アジアに注力
 50. 中国・東南アジアに注力
 51. 中国・東南アジアに注力
 52. 中国・東南アジアに注力
 53. 中国・東南アジアに注力
 54. 中国・東南アジアに注力
 55. 中国・東南アジアに注力
 56. 中国・東南アジアに注力
 57. 中国・東南アジアに注力
 58. 中国・東南アジアに注力
 59. 中国・東南アジアに注力
 60. 中国・東南アジアに注力
 61. 中国・東南アジアに注力
 62. 中国・東南アジアに注力
 63. 中国・東南アジアに注力
 64. 中国・東南アジアに注力
 65. 中国・東南アジアに注力
 66. 中国・東南アジアに注力
 67. 中国・東南アジアに注力
 68. 中国・東南アジアに注力
 69. 中国・東南アジアに注力
 70. 中国・東南アジアに注力
 71. 中国・東南アジアに注力
 72. 中国・東南アジアに注力
 73. 中国・東南アジアに注力
 74. 中国・東南アジアに注力
 75. 中国・東南アジアに注力
 76. 中国・東南アジアに注力
 77. 中国・東南アジアに注力
 78. 中国・東南アジアに注力
 79. 中国・東南アジアに注力
 80. 中国・東南アジアに注力
 81. 中国・東南アジアに注力
 82. 中国・東南アジアに注力
 83. 中国・東南アジアに注力
 84. 中国・東南アジアに注力
 85. 中国・東南アジアに注力
 86. 中国・東南アジアに注力
 87. 中国・東南アジアに注力
 88. 中国・東南アジアに注力
 89. 中国・東南アジアに注力
 90. 中国・東南アジアに注力
 91. 中国・東南アジアに注力
 92. 中国・東南アジアに注力
 93. 中国・東南アジアに注力
 94. 中国・東南アジアに注力
 95. 中国・東南アジアに注力
 96. 中国・東南アジアに注力
 97. 中国・東南アジアに注力
 98. 中国・東南アジアに注力
 99. 中国・東南アジアに注力
 100. 中国・東南アジアに注力



1年 あきとなかよし・あきとあそぼう

めざせよ 表現活動

「秋」を伝えられるものを自分なりに工夫して創り上げる

解決したい課題

秋の特徴や特長を見つけ、【自然】を使って自分なりに工夫しながら作品をつくりたい!

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
増尾城址公園 きつお山歴史公園	①おすすめの場所や教材はありますか?	図工: 平面・立体
どんぐり 木の葉 落ち葉 枝 など	②作品づくりを子どもに教えてくれる方、手伝ってくれる方を募集中です!	算数: 計算・図形 国語: 工夫を伝える 道徳: 自然愛護

1年 おいでよ あきのテーマパーク

めざせよ 表現活動

秋のテーマパークを開き 招待した人といっしょに楽しむ

解決したい課題

自分たちが作ったものを使って秋(自然)の良さを伝えたり楽しんだりしたい 土地の公園や自然の魅力を伝えたい

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
校内他クラス他学年 地域や保護者の方々 幼稚園 保育園	①いっしょに楽しんでもくれる方、子どもたちにアドバイスをくれる方々 ②どんな形でテーマパークを開催したらよいか(場所・方法・人・準備)	お客さんの数さ… 算数 発表の仕方さ… 国語 友達と協働して… 道徳

2年 わたしの町はっけん(町探検)

めざせよ 表現活動

身の回りの様々な人・場所の魅力を発信する 交流する

解決したい課題

自分たちが作ったものを使って秋(自然)の良さを伝えたり楽しんだりしたい 土地の公園や自然の魅力を伝えたい

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
土地の様々な人・場所 お店・施設・スポットなど 昨年度は31か所	①昨年訪れたスポットをもとに今年度の行先を一緒に考えてほしいです(おすすめ場所も含む) ②地域と子どもたち双方向交流していくために…	理科・社会への接続 ・課題をもつ ・調べる ・まとめる ・修正する 国語・算数の力を生かす

3年 むかしのくらし

めざせよ 表現活動

地域や保護者に向けた「ふるさと資料室」の説明・紹介

解決したい課題

歴史や伝統あるふるさと「ふるさと資料室」の存在や魅力をもっとPRしていきたい

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
ふるさと資料室 地域の方(昔あそび・昔の道具などに堪能な方) chromebook	①資料室について3年生にレクチャーして下さる方 ②3年生のガイドに参加しアドバイスを下さる方 ③どうすれば資料室の魅力が伝わるか	社会科 むかしのくらし 生活科からの発展 伝統・歴史の継承 国語 パンフレットなど

4年 Save My Life Goals(SMGs)

めざせよ 表現活動

土地安全マップ 防災安全ポスター-下級生見守り隊 他

解決したい課題

学区の危険箇所を知り 自分たち(地域)の命を守りたい そのために…

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
学区(特に危険箇所) エンジョイバトルボランティアの方々 自治会 町会など chromebook	①土地の安全を守り続けるために4年生で取り組めることは…(大人の視点から) ②子どもたちの制作や発表またその修正に携わって下さる方	3年生の学区探検からの発展 社会科 防災安全 国語 図工 道徳 他

5年 土地の農業(茶・苺など)

めざせよ 表現活動

納得できる美味しい○○づくり→魅力や方法を発信・継承

解決したい課題

近くに茶畑があるのに管理されずもったいない… 美味しくして広めたい…

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
畑(茶や苺) 校内のガーデン 農家の方 ボランティアの方 JA	①茶や苺、他にもあるか… ②子どもたちと一緒に作業したり助言したりして下さる方 ③子どもたちの取り組みや制作物を広めるには…	社会科:農家の工夫努力 理科:植物の成長 家庭科:お茶淹れ 国語:パンフレット

6年 土地スマイルアップ大作戦

めざせよ 表現活動

地域の魅力を再発見・発信(あらゆる方法で)

解決したい課題

地域の良さを大切にしたい 地域全体を笑顔にしたい

学習材・材・在	ADVICE HELP	他の学習との関連
①神社・寺 ②坂道 ③音路 ④登山・公園 ⑤日光(校外旅行) 佐原(校外学習) ※増尾との比較	①プロジェクトから多岐ある中で学習に携わって下さる方 ②地域の魅力を発信する方法には何かがあるか(スライド、パンフレット、動画、紙芝居、他)	6年間の様々な学習を生かして…

「いかす」学び

オーセンティック ラーニングを通して

オーセンティック・ラーニング

- #ホンモノの学び
- #生きて働く知識
- #子どもの成長の伸びしろ
- #学びの「おいしい所」を子どもに委ねよう
- #体験と状況と環境から子どもは育つ
- #現実世界の課題
- #学びのピークを常に「今」に
- #人間臭くて質の高い学び
- #相手と目的

2022年8月19日
総合単元計画を第
1回運営協議会に
説明し経営方針の
承認とし、スター
トする。

2022年2学期～
土地域を教材とし
た総合・生活科を
展開し、地域と共
に教育活動を展開
する

2021年4月
職員熟議で本校
卒業時に目指す
姿（資質・能
力）を決める

2022年6月18日
総合単元案を土
地域の方々に示
し、様々な策や
案をいただく。

2022年11月
参観週間を設定
し、子供たちの姿
から成果と課題を
見出す

2021年
卒業時に目指す
姿（資質・能
力）を意識した
実践を行う

2022年5月6日
総合単元開発の
ために、土地域
の課題や魅力を
6年生が伺う

2023年2月
目指す姿の見直し、
土単元の部分修正
を学校と地域とが
協働で行う

2021年12月
ミニ集会
目指す姿の実現
に向けて地域が
できること

2022年4月
目指す姿を
見直す
4つに絞ら
れたもの
を、新教員
と運営委員
会準備会メ
ンバーで見
直し、グラ
ンドデザイ
ンとする

2022年2月
目指す姿を
見直す
9つから4
つに絞る

2023年8月19日

総合単元計画を第1回運営協議会と土中学校の先生方に説明し、経営方針の承認とし、スタートする。



2023年6月18日

教育ミニ集会

総合単元案を土地域の方々に示し、様々な策や案をいただく。



2023年5月1日

土サミット

総合単元開発のために、土地域の課題や魅力を6年生が何う



2023年4月
目指す姿を見直す

4つに絞られたものを、新教員と運営委員会準備会メンバーで見直し、グランドデザインとする

2023年2学期～

土地域を教材とした総合・生活科を展開し、地域と共に教育活動を展開する



2023年11月

参観週間の中日を研究的授業公開日を設定し、子供たちの姿から成果と課題を見出す



2024年2月10日

土サミットで全学年発表、教育ミニ集会で全学年の次年度計画を地域・保護者と協働で行う



単元設定の理由・背景

- ・校外学習で体験したことを、遊びの形で表現する力を育てる。
- ・年下の園児と触れ合うことで、自分自身の成長への気付きにつなげる。
- ・グループごとに地域の方にアドバイザーとして入って頂き、学習活動を行う。
- ・会を成功させ、「できた」という達成感を味わわせる。
- ・四季の自然の特徴に気付き、良さを実感させることができる。

単元名	単元目標・つきたい力
土っ子ランドへようこそ!	園児を招待し、あそびを通して、体験したことを伝える。 「えんのみんなにたのしんでもらうためにはどうしたらよيدらうか。」

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①約束やルールを守って、友達と関わって遊ぶ楽しさや友達によさや自分との違いに気付いている。②園児に上手に接することのできるようになった自分の成長に気付いている。	①みんなで楽しむことのできる約束やルールなどを考え、遊びを作り出している。②園児の立場になって考え、遊びの準備をしたり、プレゼントを作ったりしている。	①思いや願いを持って、遊びやその日に使う物を粘り強く作るようとしている。②園児と一緒に楽しく遊ぼうとしている。

時	活動内容	学習のポイント	学習財・在・材(地域人材含む)	カリマネ
1 ~ 3	校外学習で見たことや聞いたこと、集めた自然物を使って、あそびを考え、作る。			・千葉市動物公園、サツマイモの栽培、公園探検などの学習活動を通して体験してきたことを園児に伝えるために、どのようなあそびがよいか考える。 ・どんぐり、落ち葉などの自然物でクイズやおもちゃ、ゲームなどを作る。(保護者サポーター)
4 5	・「土っ子ランド(あじみ)」を開催する。 ・学年で自分たちがお客さんになって楽しむ。 ・「土っ子ランド(あじみ)」の反省と「プレ・土っ子ランド」の計画を立てる。			・自分たちがやってみて、よかったところや改善点を話し合い、次回にがんばるところをグループごとに共有する。※活動を通してグループごとに地域の方にアドバイザーとして参加していただく。
6 7	・「プレ・土っ子ランド」を開催する。 ・保護者や地域の方に向けて開催し、意見をもらう。 ・「プレ・土っ子ランド」の反省と「土っ子ランド」の計画を立てる。			・「プレ・土っ子ランド」を保護者に向けて開催し、保護者や地域の方から良かった点と改善点を付箋に書いてもらう。それをもとに、自分たちはどうしたらよいか考え「土っ子ランド」の計画を立てる。(保護者)
8	園児を招待して、「土っ子ランド」を開催する。			・2回の「土っ子ランド」での、反省や経験を踏まえ、園児に遊びを通して、学習したことを伝える。(保護者サポーター)
9	「土っ子ランド」のふりかえりを行う。			・学んだことを、「土っ子ランド」を通して伝えることができたか、自分の成長を感じることができたかを振り返る。

児童の成長ポイント②

・粘り強く取り組む力がついた。
他クラスや保護者からのアドバイスを活かして、自分達の足りないところを改善し良いところを伸ばしながら、学習を進めることができた。



児童の成長ポイント③

・相手意識を持つことができた。
自分の思いだけで書いたり行ったりしていたところから、相手の立場を考えて、学習活動を進めることができるようになった。



児童の成長ポイント①

・学習の目的を意識して活動できるようになった。校外学習で、調べたことを、どう活かそうかということを考えながら活動する姿が見られた。普段の授業の中でも、見通しを持って取り組む姿が見られた。



令和6年度に向けた願い

- ①子供は地域の財産
生活科を中心に多くの地域の方関わって頂き、学習を進めていきたい。
・通学路たんけん ・こうえんたんけん ・おかしあそび ・成長のふりかえり
- ②やり抜く子
生活科「土っ子ランド」を生活科の活動のまとめとし、発表の場として続けていきたい。
学年内→保護者・地域の方→幼稚園・保育園と、発表経験を積ませることに重点を置いた。
回数を重ねる毎に反省が生き、子どもの取り組みが洗練されていったのを感じた。粘り強く取り組む力がついた。
- ③自分を知り、自分を表現できる子
子供たちが自己肯定感を持ち、自分らしく活動できるように、多くの目で成長を見守ってほしい。
教師・保護者・地域の方
キャリアサポートを通して、自分の目標や一年間の反省などを多くの方に聞いて頂き、励ます。

令和5年度 柏市立土小学校 2年生 生活科 プランシート 作成者:

単元設定の理由・背景

- ①土地の特長や魅力に気づけるような、子ども達の「興味のアンテナ」を育てたい。
- ②自分の住んでいる土地に愛着や親しみを持ってほしい。生涯にわたって土地にかかわる素地を養いたい。
- ③子ども達が気づいたことや学んだことを生かし、子どもたちの手で地域に還元できるような実体験を最大化したい。

単元名 単元目標・つけたい力

「はっけん! 土の町たんけん!」
 ~町のすてきを見つけよう、伝えよう~

土地の人や場所について気づきを増やし、自分とどのように関わっているか見出すことができる。
 土地の人や場所に探究的に関わり続け、良さを見出し、地域に向けて表現することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	①自分たちに住む土の町には、多様な人や場所や場所がかかり合っていることが分かっていて。 ②気づいたことや発見したことを「町のすてき」としてまとめ、友達や土の町の人々に伝えることができる。	①土の町を思い起こしながら、やってみたいことを思い描き、調べたい場所や人について選り交流することができる。 ②自分たちが調べたことを振り返りながら、土の町の人々に発信している。(パンフレット等)	①土の町の場所や人々に親しみや関心を持ち、繰り返し関わることを通して、魅力を伝えようとしている。 ②土の町の場所や人々に親しみや関心を持ち、それらの良さを大切にしようとしている。

時数	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
2	・「土の町の魅力をPRするために、『すてき』を発見する」という目標を持つ。 ・すてきとは何か、町の人たちのことを考え、動画で土地のすてきを広める活動を行う。	・土地の魅力を広める取り組みについて目的を明確にする。(生活科) ・すてきとは何か町の写真を見ながら考える。(生活科) ・3年生に町たんけんのことについて聞き、見通しをもたせる。(異学年交流・国語)
4	知りたいことややってみたいことを思い描き、役割分担をする。(インタビューの場所担当を決める、インタビュー内容を考える)	・「生きものクイズを作ろう」や「夏休みの思い出を話そう」などでインタビューの方法を知る。(国語)
6	実際に土の町に出て、店や施設を見学したり、人にインタビューしたりしながら、町の魅力を記録する。	・地域事業所〇ヶ所・保護者・地域ボランティア ・写真の撮り方(生活科 ビデオテープ)
13	「町のすてき」を整理し、PR動画としてまとめる。友だちや保護者に土の町の魅力を発信する。児童が作成した成果を、町の人に見てもらう。	・授業参観で保護者に資料の作成過程を見せ、アドバイスをもらう ・地域事業所〇ヶ所 ・まとめ方(生活科 ビデオテープ)

児童の成長ポイント①

町たんけんや調べる学習を通して、自分が暮らす土地の良さに気づくことが出来た。



児童の成長ポイント②

ICTをよりよく活用するために必要な、情報リテラシーが育った。



児童の成長ポイント③

分かりやすく伝えるための発表の仕方や資料づくりの方法が身についた。



令和6年度に向けた願い

- ①校地外学習をより充実したものにするために、保護者の方や地域の人に引き続き協力して頂きたい。
- ②子どもたちの地域に向けた気持ちや意図が伝わるようなPR動画づくりをしていきたい。
- ③地域の人たちに作品の評価を一緒にして頂き、子どもの成長に繋げたい。

児童の成長ポイント①

様々な体験やインタビューを通してふるさと資料室や昔の道具に対しての興味・知識が高まる



単元設定の理由・背景
 興味・関心が高い児童が多く、分からないものや気になることがあれば本や図鑑を使って調べることが多い。しかし、調べて終わることがあるため調べたことをまとめて伝える力を育てていきたい。また、調べるだけではなく実際に体験することで伝え方や表現が広がるのではないかと考えている。地域では、昔の道具の使い方や説明ができる人が多く、直接話を聞いたり体験したりすることでより深く学ぶことができ、地域との関わりをもつことができる。自分で調べるだけではなく地域の人の関わりをもつことでコミュニティスクールにも繋がっていく。
 各教科の関連としては、社会科や国語科と関わってくる。調べ、まとめるだけではなく相手に伝えるような文章構成や話し方も学習することができる。

単元名	単元目標・つきたい力
むかしのくらし ～ふるさと資料室の魅力を伝えるにはどうしたらいいのだろうか～	調べ学習や体験を通して、学んだことを生かし伝える力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ふるさと資料室を通して地域と関わり、学校・地域のために様々な人が協力していることがわかる。【概念形成:相互性】 ふるさと資料室にある昔の道具について、インタビュー、本、インターネットから必要な情報を記録する。【技能】 ふるさと資料室のみりよくや昔の道具についての知識の蓄積は、探求的に学習してきたことの成果であることに気づいている。【探求的な学習のよさの理解】	【課題設定】ふるさと資料室の魅力について考え、資料室にあるむかしの道具を調べて伝えている。 【情報収集】課題解決に必要な情報を得るために、本やインターネット、地域の人のインタビューなどを行い情報を収集する。 【整理・分析】収集した情報を、整理・分析し自分が表現しやすい手段を選択する。 【まとめ・表現】相手に伝えたいことや学んだことをポスターやスライドなど(各自の方法)でまとめ、分かりやすく表現する。	課題解決を通して、自分の良さや他人の良さに気づき、互いの考えを受け入れようとする。【自己理解・他者理解】 課題解決に向けて、自ら情報を集め、協力して、最後まで粘り強く取り組もうとする。【主体性・協働性】 課題解決を通して、自分たちの学習が地域の人たちの協力で成り立っていることに気づき、地域の問題に対して進んで関わろうとする【将来展望・社会参画】

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
6月	「ふるさと資料室に行き、気になるものを見つけよう」	・総合学習のゴール、見通しをたてる ・ふるさと資料室へ行く ・気になるものを見つける
7月	「調べてまとめよう」	・相手に教えたいこと、伝えたいことを考える ・本や図鑑を使って調べる
9月	「調べて体験しよう」	・本や図鑑を使って調べる ・実際に体験する(足踏み脱穀機、せんばこぎ) ・地域の方を招いて、昔の道具についてインタビューをする
10月	「調べて体験しよう」	・調べたことや感じたことを整理してまとめていく ・新聞、ポスター、スライドなど自分のまとめやすい方法でまとめていく ・校外学習(房総のむら)
11月	「伝えたいことをまとめて分かりやすくまとめよう」	・新聞、ポスター、スライドなどにまとめていく ・地域の方を招いて、昔の道具についてインタビューをする ・どうやったら分かりやすく伝わるのか考えながら作る
12月	「ふるさと資料室の魅力を伝えよう」	・3年生全体で発表し、よりよい発表にしていこう ・発表を動画に収め、自分で確認する。 ・発表後、友達の意見や先生の意見を参考に練り直す ・ふるさと資料室の魅力を再度確かめ合う ・お世話になった地域の方や保護者の方、土っ子のみんなに発表する
1月	「ふるさと資料室の魅力を多くの人に伝えるには??」	・調べたことや体験したことを伝えて、ふるさと資料室を活性化させる ・資料室に来てもらえるようなイベントを企画する ・ふるさと資料室を整理する 地域に呼びかける
2月	「計画したイベントを実施しよう」	・イベントを行うため準備をする ・イベントを行い、反省、改善を行っていく
3月	「学習したことを振り返ろう」	・学習したことを振り返り次年度にむけて引継ぎを行う

児童の成長ポイント②

ふるさと資料室の実物に触れ、本やクロームブックを使って調べ活用したことにより、房総のむらで比較してみる力が生まれる



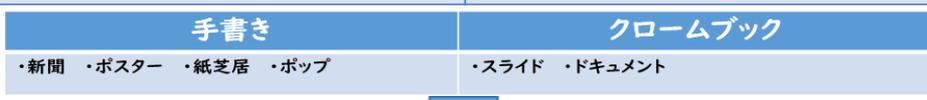
児童の成長ポイント③

調べたことを相手にわかってもらおうとする、コミュニケーションを伴う表現力



令和6年度に向けた願い

- ①土小のふるさと資料室をよりよくしていくための工夫
- ②ふるさと資料室に残る資料をつくる
- ③ふるさと資料室について発表する機会や相手を豊富にする。



ふるさと資料室の魅力を学び、魅力を伝えるためのイベントを実施をする

令和5年度 柏市立土小学校 4年生 総合的な学習の時間 プランシート 作成者：関・高根

単元設定の理由・背景

土地域の特性である坂道が多いことや、見通しが悪い道などで交通事故を防ぎたい。(地域の特色)
 児童の実態としては、自転車に乗る際にヘルメットをかぶっていないかたり、乗車前の点検や乗り方が悪いことをなくしていきたい。(児童の実態)
 子どもたちの安全に対する意識を向上させたい。(育てたい資質・能力、教師の願い)
 今年度学習する内容と関連付け、自分たちの身の回りの安全について理解を深め、安全に過ごせるようにしたい。(教材の特性)
 国語科のリーフレットづくりを通して学んだ力を、安全に関するポスターやリーフレットの生かしたい。(各教科の関連)
 児童の実態 育てたい資質・能力 教材の特性 教師の願い 地域の特色 地域の要請 各教科の関連など

単元名	単元目標・つきたい力	
Save Mylife Goals(SMGs) ～土地域の安全を守るにはどうしたらよいか～	学区探検を通して、土地域の危険箇所やどのような危険がひそんでいるか発見し、対策を考える。 みんなが安全に暮らすために、自分たちができることを考える力をつける。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域には坂道や見通しの悪い道があることに気付くことができる。(概念形成・地域生) ②フィールドワークを通して見つけた地域の危険を地図にまとめることができる。(技能) ③地域の安全に対する自己の認識の高まりは、警察署や市役所地域と連携し探求的に学習してきたことの成果であることに気づく。(探究的な学習の良さの理解)	①地域の安全に目を向け、その解決方法を考え、見通しをもって計画する。 ②課題解決に必要な情報を得るために、多様な方法から目的に応じて手段を選択して情報を収集する。 ③収集した情報や事実を関連付けて、整理分析する。 ④自分の提案を伝えるために、目的と根拠を工夫してわかりやすく表現する。	①課題解決を通して、自分の気づきや他者の気づきを知り、尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②課題解決に向けて、自らが考える最善の方法を検討して、協力して取り組もうとする。(主体性・協調性) ③実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして捉え、進んで取り組もうとする。(将来展望・社会参画)

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
3	・土地域の安全を守るためにできることを考えて話し合う。(テーマ決め) ・自分の自宅、通学路の危険箇所について話し合う。 ・地域の方から正式な依頼(安全マップ、安全ツアー、標語)	・自分たちが土地域の安全に寄与できることは何か考えようとする。 ・土地域の安全を守るにはどうしたらよいか、様々な意見が出るようにする。 ・地域の方からの願いをかなえられるために、学習できるようにする。
1 5	・班の中でコースを分担して、危険箇所の動画を撮り、他の人と情報共有する。 ※危険=交通安全や土地の特性、防犯、防災など ・地域や保護者からの情報を自分たちが調べた結果に付け加える。 ・町内会の回覧板に危険事案を投稿して頂くためのチラシを作る。 ・コースごとに危険箇所を交通安全、防災、防犯についてまとめる。	・9月ごろにコースごとに一緒に付き添ってもらい地域人材を集める。(5コース) ・実際に通学路を歩いて危険な箇所を見つけ、安全について考えられるようにする。 ・児童では集められない危険箇所を地域や保護者から投稿してもらい、情報量を増やして児童の学習に役立てられるようにする。(校外委員さんに、投稿先の設置とメールの管理をお願いする。
1 5	・解決策を実践する。 ①土地域の安全マップを作成する。 ②土地域の安全ツアーを開催する。 ③「自分の身は自分で守る」標語を作成する。 ・授業参観で中間発表(安全ツアーの練習やアドバイスをもらう場)	・PTA校外委員さんや地域の方と連携して、土地域の安全マップを作成する。 ・マップを地域や新1年生の入学時に配付する旨を伝え、意欲を高められるようにする。 ・地域の方向けに安全ツアーを開催し、自分たちが学んできたことを伝え、地域と共に安全について考えられる機会とする。 ・自分たちが作ったものが1年生や地域の安全に役立っているという有用感を育む。
1 0	・学習のまとめ ・教育ミニ集会や授業参観で安全マップを見ながらツアーを開催する。 ・次年度の4年生への引き継ぎなど	・学習したことをまとめ、今後の生活に生かせるようにする。 ・授業参観を通して、大人にも地域の安全を考えてもらえるようなきっかけとする。 ・今年度できたところを3年生に伝え、次年度に引き継いでもらえるようにする。

児童の成長ポイント①

最初は、土小の周りの地図を見ても全然どこにいるかもわからなかったのですが、実際にそれぞれのコースを歩いて調べたことで、地図の読み取りができるようになりました。



児童の成長ポイント②

通学路の危険について、1分間に通る車の台数を調べるなどデータに基づいて危険性を客観的に伝えられる力が身に付きました。



児童の成長ポイント③

PTAの校外委員さんのマップをそれぞれのコースを詳しくした安全マップをつくることができました。



児童の成長ポイント④

授業参観などで保護者や地域の方に自分たちが発見した危険箇所などについて、詳しく伝える力がつきました。



令和6年度に向けた願い

- ① もっと地域の安全について考えたい。
- ② 安全を通して、地域との繋がりを深めたい。
- ③ 学習を通して、以下の力をつけていきたい。
 - (1) 現状を確認する
 - (2) 課題を見つける
 - (3) 解決方法を考える
 - (4) 実際に行動する
 - (5) ふりかえりをして、次に生かす
 - (6) もう一度、行動する

児童の成長ポイント①

自分の意見を伝えるのが苦手だったが、班の中で意見を交換することや直接、農家の方にインタビュー取材をする学習を通して、堂々と伝える児童が増えました。



単元設定の理由・背景		
①素直で何事にも一生懸命頑張る児童であるため、さらに創造力を働かせて、新たな取り組みにチャレンジさせた ②教育サミットで地域の方々から頂いた農業の後継者不足という課題に対して、土地の「農業」を活性化させていくことで、自分たちが住んでいる地域を大切に、何か力になれることはないだろうか考えた。 ③社会や国語、理科、算数との関連が深いので、各教科で学んだことを生かして、学習を深めることができる。		
単元名	単元目標・つきたい力	
知産知消「直売所お知らせ隊」	・目標を持って調整しながら粘り強く取り組む・・・地域の課題解決に向け、農家さんへのインタビューやアウトプットしながら、試行錯誤を繰り返して、情報活用能力や表現力を身に付けさせる。 ・他者を認め、助け合う・・・グループで協働し、よりよいものにするため意見を出し合いながら協力して活動する。	
	知識・技能	思考・判断・表現
評価規準	①地域の主要産業である農業にかかわる生産、販売、流通、生産者の願いとそれを支える消費者との協力から成立していることを理解する。(概念形成：複合性) ②インタビューを中心とした調査活動の目的や対象に応じて適切に行い必要な情報を的確に記録する。(技能) ③土地の農業について、直売所経営や自分で作る大切さについて理解し、農作物を作り続ける生産者への敬意をもち、農作物の良さを探究的に学習してきたことの成果であることを表す。(探究的な学習のよさの理解)	①土地の農作物に目を向け、農業における複雑な問題状況から課題を設定し、仮説をもとに解決方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる。 ②課題解決に必要な情報を得るために、多様な方法から目的に応じて手段を選択して効果的に情報を収集し、種類に応じて整理する。 ③収集した異なる情報を多角的に考察して、課題に対して確かな理由や根拠を持つ。 ④自分の立場や意見を明確にして、相手や目的に応じて効果的な表現方法でまとめ、伝えたりする。
月	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
6	・「農業」というキーワードからマインドマップを作る ・土地の課題について理解するために太陽チャートを用いて整理する ・自分たちが土地のためにできそうなことはないか考える。 ・野菜の直売所について知る	・農業に対するイメージと現状の認識を確認する。→社会、国語 ・社会科で食料自給率が低いことを知る。→社会 ・様々な課題があることをインタビュー取材を通して理解する→国語
7	・土地にはどこにどんな直売所があるのか情報を集める ・実際に見学(フィールドワーク)にいき、できることの手伝いや、PRして良いか許可を得る ・電話取材やインタビューで必要な情報を得る	・登下校や放課後にどこに直売所があるか知る。実際に直売所の場所のみを伝え、グーグルストリートビューを使って安全な道を決める→訪問する ・地域の農家9名にご協力頂く。関口さん・吉田さん・吉場さん・坂田さん・山野辺さん・平川さん・山野辺さん・豊田さん・伊能さん。引率は保護者ボランティア→社会と国語
9	・集めた情報の中から、自分たちにできそうな内容を整理する ・決まったことを農家の方へ連絡して、許可をもらう ・農作物作り方を教わり、実際に作ってみる ・こまめに取り組んできたことを中間報告する。	・課題を解決するために自分たちにできることを選定する ・電話連絡で話すスキルを獲得し、解決方法を決定する ・畑を使用し、発芽から収穫までのお世話の方法を知る→社会と国語と理科

児童の成長ポイント②

担当の農家さんに質問したり、お手伝いの日程を相談したりするために電話の受け答えの学習をしました。はじめは電話で話すことに抵抗があったが、徐々に話し方やメモをとることなどを学び、地域の方とのつながりを強めることができました。



児童の成長ポイント③

自分がわかれば良いという視点から、作品を見る人のことを考え、表現する力が身に付きました。文字を太くしたり、色を工夫したりと効果的な表現方法でまとめていました。

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
10	・農作物を作った班から作り方を教わり、他の班も実際に作ってみる ・作ることでお世話の大変さや、手入れの大切さを学ぶ ・発表した内容からさらに課題を見つけて計画をたてる	・良いところを引継ぎ、自分たちが最適だと思う方法でつくる→理科
11	・計画を立てて実行する ・実際に見学(フィールドワーク)にいき、できることの手伝いや、PRして良いか許可を得る ・電話取材やインタビューで必要な情報を得る ・農作物作り方を教わり、実際に作ってみる	・登下校や放課後にどこに直売所があるか知る。実際に直売所の場所のみを伝え、グーグルストリートビューを使って安全な道を決める→訪問する ・地域の農家9名にご協力頂く。関口さん・吉田さん・吉場さん・坂田さん・山野辺さん・平川さん・山野辺さん・豊田さん・伊能さん。引率は保護者ボランティア→社会と国語
12	・集めた情報の中から、自分たちにできそうな内容を整理する ・決まったことを農家の方へ連絡して、許可をもらう	・課題を解決するために自分たちにできることを選定する ・電話連絡で話すスキルを獲得し、解決方法を決定する
1	・収穫した農作物をどうしていくのか考える ・それぞれの班で課題解決に向けて計画を立てて取り組む ・それぞれの選択した方法で課題を解決するべくアウトプットしていく	・野菜を調理したりレシピを考えたりして売る方法を考える→家庭科 ・売り上げを上げるためにどんな工夫が必要か考える→社会、算数 ・課題解決の方法をまとめて表現する→国語
2	・考えられる方法(パンフレット・ブックレット・ポスター・チラシ・動画を作ってURLで知らせる) ・完成した作品を届ける。協力のお礼を形にする。	・テーマに合わせて作品を作る→国語、図工 ・農家さんに取り組んだことを報告し、農家さんの願いに近づけるようにする→図工と外国語と国語
3	・学習のまとめ、ふりかえる	

食品ロスを減らしたいと願って作った作品

野菜の保存法

上手に保存するコツは、「乾燥や乾燥、風通し良い野菜は、なるべく一つずつキッチンペーパーや新聞紙に包み、ビニール袋に入れて保存する」
 野菜に水がついていると、傷みが速くなるため、冷蔵庫に入れる際は、しっかりと水気を拭き取る。
 野菜を保存する際、(部など)育てた時と近い状態にする。

お金を入れてください

農家さんが長い年月や苦勞をかけて作った野菜です。お願いします。お金を入れてください。

正しい金額をいれてほしいと考えて作った表示

令和6年度に向けた願い

- 畑を定期的に管理・指導して下さる方を見つきたい。農業をまるごと体験する。
- 全員に野菜作りを体験させたい。本当の農業の大変さを実感する
- 作ったものを売る、自分達の直売所を作りたい。農業から経済活動を実感する。

土地域☆魅力めぐりツアー

日時

2024年1月29日（月）

2月1日（木）

2月2日（金）

午前の部 9:00より、午後の部 13:00より
2時間程度を予定しています。

※ツアーの内容は日時によって変わります。



神社



農業



坂道



昔話



歴史・自然

土地域の魅力や地域
に伝わる昔話を、
6年生の土っ子が
ツアーを通してお届け
します (^o^)
お楽しみに！

参加希望の方はこちらのQRコード
からお申し込みください。



また、電話でもお申し込みを受け
付けております。ツアーに関する
ご質問等も、気軽にお問い合わせ
ください。

柏市立土小学校

04-7172-4805(9:00~16:00)

土小観光協会

ツアー客を
一般募集をして
3日間で
約100人

学習に関わった大人たち、ツアー参加者の感想

- ・地域にこんな素敵な場所があるなんて、知らなかった。住んでいる場所をもっと知りたいと思った。
- ・いつも通っている坂に名前がついていて、それも昔からの言い伝えや、住んでいる人と関係しているなんて、これから通る時は気持ちが違ってくる。
- ・一生懸命に調べたことがよくわかる。誰かに伝えようとするとても大変だけど、増尾地域のことを好きになってくれたことがとてもうれしい。
- ・子供たちと一緒にやっていると、さらに自分自身も深く知らなければいけないと反省して、再勉強をしてしまう。
- ・増尾には昔からの寺があり、寺のことを知ってもらうことに子供たちが関係してくれれば、歴史や地域を大切にする気持ちが育っていくように思う。

学校創りのビジョンを共有する ～3校目の学校経営をどう進めるか～

- 教育課程の最上位目標を明らかにし、そこに向かう教育課程創造
 - 最上位目標を実現するためのカリキュラムが学校独自の教育課程
 - 最上位目標を教職員・関係者の合意で（教育ミニ集会の活用）
 - 校内研究の目的は授業改善の先に見える教育課程づくり
- 学校経営の軸は教育課程
 - 教育課程＝学習指導要領に則る単元づくりと授業づくり
 - ＝個別最適で協働的な学びを実現する授業改善
 - ＝社会に開かれた教育課程
- 社会に開かれた教育課程に向けたコミュニティースクール体制の整備
 - 校長は学校の顔。4月は徹底的に地域を回り、飛び込み営業で名刺250枚を散布
 - 生活科、総合の過去の状況を地域から情報収集、レディネスを確認し構想を練る
 - 夏休みに具体的素案を学年検討し、2学期に具現化を図る
 - 富勢4校の教育課程すりあわせを、生活・総合のカリキュラムを軸にする
- ベースとなるものは、学校経営グランドデザインを職員参画で作成する

目指す姿を共有し 地域と共に 総合と生活科の単元を創る ストーリー (in富勢) 2024-2025

2024年 8月21日

富勢中学校区で9年間で育む力を120名でワークショップをする。富勢中学校区学校運営協議会



2023年 7月

グランドデザイン作成
教職員のプロジェクトチームにより作成。



2024年6月12日

4校実践話し合い
目指す子どもの姿を話し合うワーク



2024年 4月
目指す姿を職員間で話し合う

現状の目指す姿の実現に向けて、どんな実践をしたか、今年は何をしようとしているか。



2024年 2学期～

富勢地域を教材とした総合・生活科を展開し、地域と共に教育活動を展開する



2025年1月22日

次年度教育課程創造会議を行う。富勢4校計画摺り合わせ



2025年 2月19日

教育ミニ集会
全学年の次年度計画を地域・保護者と協働で行う



2025年度 富勢小 学校経営グランドデザイン

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる富勢の子 の育成

中期目標 3年後に実現したい学校像
地域と共に教育課程(カリキュラム)を共有し、
目指す子どもの姿の実現に向け、学校は地域を、
地域は学校を考え教育活動を通じて発展しあう
学校。

短期目標 25年度末に実現すること
富勢小の職員と保護者・地域が目指す児童の
姿を共有し、学校行事、各教科の指導を捉えな
おし、富勢3小学校が関わり合う視点を持って
子供の学びに沿った教育課程を創る。

目指す子どもの姿 挑戦し やりぬこうとする子!

Control
自分を大切に
他者を尊重する力

Communication
考えを伝え、協力する力

Challenge
しなやかに挑戦し続ける力

Concept
社会で活かせる学びの力

経営重点手段 3つの新

新しい発想で取り組む

- ・子どもを主語にした、個別最適で協働的な
学びの具体化を図る授業実践
- ・富勢地域、外部との関わり、学習支援ボラン
ティアを活かした地域一体型の学びを創る

新しい活用方法を工夫する

- ・学年(チーム)担任制で取り組む
- ・図書館、GIGA、ラーコモの一体的活用

新しい教育課程を創る

- ・生活科、総合の学習を軸に他教科連携を深め
富勢4校での学びの道筋を創る

目指す教師像

- ・前例に捉われない挑戦力
- ・他学年や地域と協働する調整力

具体的取組み

プロジェクトチームで具体策を示す

1 新しい発想で取り組む

- ・校内研究の一人一研究で、「個別最適な学び・協働的な学びの視点」を取り入れた単元
作りをした授業を展開する。お互いの授業を見合い、振り返りながら授業改善を行い、
挑戦する力を向上させる。
- ・子どもが自ら家庭学習に取り組めるよう、指導内容を工夫する。(宿題は見直す)、選択
肢のある課題やスマイルネクストドリル活用など、自学力を向上させる。
- ・子ども自身が学びのゴールを設定し、達成できるように学び方を選択させ、見通す力を
向上させる。

2 新しい活用方法を工夫する

- ・「調べる学習」ハンドブックを基に、様々な教科で学校図書館とGIGA端末を活用した教
育活動に取り組む。自分なりの課題意識を持ち、協働的な学習を行いながら課題解決
に取り組む力を向上させる。

3 新しい教育課程を創る

- ・「子どもを主語にした」生活科・総合的な学習の時間を軸とした、カリキュラムマネジ
メントを行い「地域の担い手を育む」を目指し、挑戦する力を向上させる。富勢4校校内研
究の成果を他教科や行事等に生かす。
- ・なかよし活動や委員会・クラブ活動等での異学年との交流を通して、上級生としての意
義を高め、自己肯定感を高められるようにする。

1 新しい発想で取り組む

- ・子どもが安心して学べる言語環境を整え、子どもが挑戦したくなるようなきっかけ作り
を行い、挑戦したことに価値を持たせる。
- ・目標設定を生かす。目標は常に「なりたい自分の、自分たちの姿」として設定し、達成で
きた実感が持てるような支援をして、成功体験から自身につなげていく。

2 新しい活用方法を工夫する

- ・自分の考えを伝える力をつけるため、R80メソッドを様々な教科で導入する。地域や富
勢4校の交流を通じて、コミュニケーション力を育成する。

3 新しい教育課程を創る

- ・生活科・総合的な学習、各教科の学習活動で外部の方々と触れ合う中で、基本的なマ
ナー等を発達段階に応じて身に着られるように、実の場での学びを大切にする。
- ・失敗から学び、自分からそうなりたいと思っ身につけていく場を大切にする

実現
手段

成果
効果

- ・富勢小学校が目指す姿を、学校、保護者、地域で共有し、教育活動が展開され、目指す姿に掲げる姿の実現が図られる。
- ・富学協の関係者が学校と地域との橋渡しを行い、子どもたちの体験の充実、学びの充実が図られる。

教育課程の軸は 「子供を主語に」

こうすれば楽しく授業できるようになるん
じゃないかという提案

僕はみんなと協力して学習を進めることで、コミュニケーションの力も一緒に育てられるし、みんなでやれば楽しくできるんじゃないかと思います。他にも、人それぞれ学びやすい学び方が違うとも思います。例えば一人でひたすらやるのがあってる人、遊び心を加えてゲーム感覚でやるのがあってる人、先生に教えてもらいながらやるのがあってる人など様々な人がいると思います。なので一つしか選択肢がないよりもっとたくさん選択肢があったほうが良いと思います。今まで通りでいいと思ってる人だけじゃないんじゃないかと思うんです。なので僕はいろんなやり方を提供してあげるのがいいと思います。これで僕の提案を終わります。

児童会役員任命の際にどんな学校にしたいのか?と聞いてみると・・・

「楽しい学校にしたい」→「楽しい学校って何が楽しいの?」→「……………」

「休み時間が楽しい」「縦割り活動が楽しい」→でも・・・

「授業が楽しいと楽しい学校になる」→「楽しい授業ってどんな授業?」→「……………」

「じゃあつまらない授業は?」→「先生が話してただ写す授業や調べるだけの授業」

「どんな授業が楽しい授業なのか教えてください」とお願いしたところ

児童会役員にどんな授業が楽しい授業なのか、ここで語ってもらいます。

どんな授業が楽しかったか

全然わかんなくてやる気が出ないときは、予告状の謎と絡めて算数を勉強したりすることで遊び要素を加えて楽しくやるやり方が楽しかったです。

難しい問題のときは、友達と一緒に考えるのもいろんなアイデアが出てくるし、自分がわからなくても友だちに教えてもらえるから楽しかったです。

復習をするときは一人でやるのもノートのページがどんどん埋まっていった授業が終わったときに達成感があって楽しかったです。

予習や初めて学ぶときは、先生に教えてもらいながらやるのも分かりやすいしその部分について覚えやすいからためになってよかったです。

地域の人との安全マップの授業も以外に綺麗にまとまったし危険な箇所を知ってもらえて嬉しかったです。

来年度教育課程の工夫点 Ⅰ

- 教育課程（カリキュラム）の軸は、富勢地域を教材とした生活科と総合的な学習の時間として、各教科の学習との関連を図りながら、本物の学び（オーセンティックラーニング）に近づけていく。
- さらに、富勢地区の小中学校4校が連携した学びに発展させていく。

令和9年度 千葉県教育研究会 生活・総合的な学習部会の研究大会会場を予定



目指す姿を共有し 地域と共に 総合と生活科の単元を創る ストーリー (in富勢) 2025-

2025年8月21日

教育ミニ集会 (中学校区)
富勢中学校区で各学校の地域と共に行う生活・総合の単元計画の説明と協力の依頼を行う。



2025年6月28日

教育ミニ集会
各学年が保護者・地域・児童に計画を説明する。



2025年6月12日

4校合同研修
学年ごとに生活・総合の学習計画案を交流し、テーマをすりあわせる。



2025年

4月3日

グランドデザインを元に、今年の実践について話し合う。



2025年2学期～

富勢地域を教材とした総合・生活科を展開し、地域と共に教育活動を展開する

子供たちの学習交流会

12月11日～12日

学校公開日で、学習成果発表・中間発表等も行う。

2026年1月23日

次年度教育課程創造会議を行い

2026年2月20日

教育ミニ集会

全学年の次年度計画を地域・保護者と協働で行う





土っ子 面白チャレンジ



教室 in 2022

柏南高校の楽しい算数教室



算数カルタ・・・

たし算しながらトランプをめくる
18になったらOK
何組18を作れるか・・・
神経衰弱をうまく使って
思わず一生懸命たし算をする！



2022 開設11教室と担当者と参加者

・学習系教室

・調べる学習教室	学校図書館指導員	6名	11名
・自由研究教室	理科支援員	4名	18名
・柏南算数教室	柏南高校 先生	4名 生徒23名	32名

・体験系教室

・英語で遊ぼう教室	特別非常勤講師外国語	1名	39名
・スナックゴルフ教室	美里ゴルフ	3名	76名
・土っ子探検隊	地域住民	3名	35名
・茶道を英語で学ぶ教室	地域住民	2名	30名
・立体ペーパーフラワー教室	地域住民	2名	20名
・寄せ植えチャレンジ教室	地域住民	2名	13名
・川柳教室	地域住民	2名	4名
・座禅教室	少林寺住職	1名	22名

のべ 377名参加

2025 クラブ活動の地域移行

先生は出席確認まで、その後は研修時間

- ・ 囲碁・将棋クラブ
- ・ ダンスクラブ
- ・ グランドゴルフクラブ
- ・ イラストクラブ
- ・ バドミントンクラブ
- ・ ボードゲームクラブ
- ・ 手芸クラブ
- ・ ねぶたばやしクラブ
- ・ アートクラブ
- ・ レザークラフト
- ・ サイエンスクラブ
- ・ 料理クラブ
- ・ ガシャポンクラブ
- ・ キズラボ
- ・ バスケットボール
- ・ すもうクラブ
- ・ ものづくりクラブ

- 地域住民
- 地域クラブ
- 美里ゴルフ
- 地域イラストレーター
- 学校開放利用団体
- NPO法人
- 地域住民
- 柏市内団体
- NPO法人
- 地域業者
- 理科支援員
- 地域+栄養教諭
- NPO法人
- NPO法人
- 開智国際大学
- 富勢ふるさと協議会
- 県民プラザ団体



PTA活動から 地域学校協働活動へ

2024年度末、PTA本部を担う保護者が十分に集まらず、PTA本部は休眠となる。
一方で、PTAの各委員会活動の必要性はあり、年度末委員を中心にボランティア組織として立ち上がる。
運営協議会委員＋町会関係＋商店街＋地域ボランティア代表＋保護者ボランティア代表等により、PTA組織に変わる「地域学校協働活動本部」＝くすのきサポーターズを組織する。
年間PTA会費3000円⇒2000円とし、柏市PTA連合会にも登録し、緩やかなつながりの中で、迅速に対応するサポート組織を手掛けている。

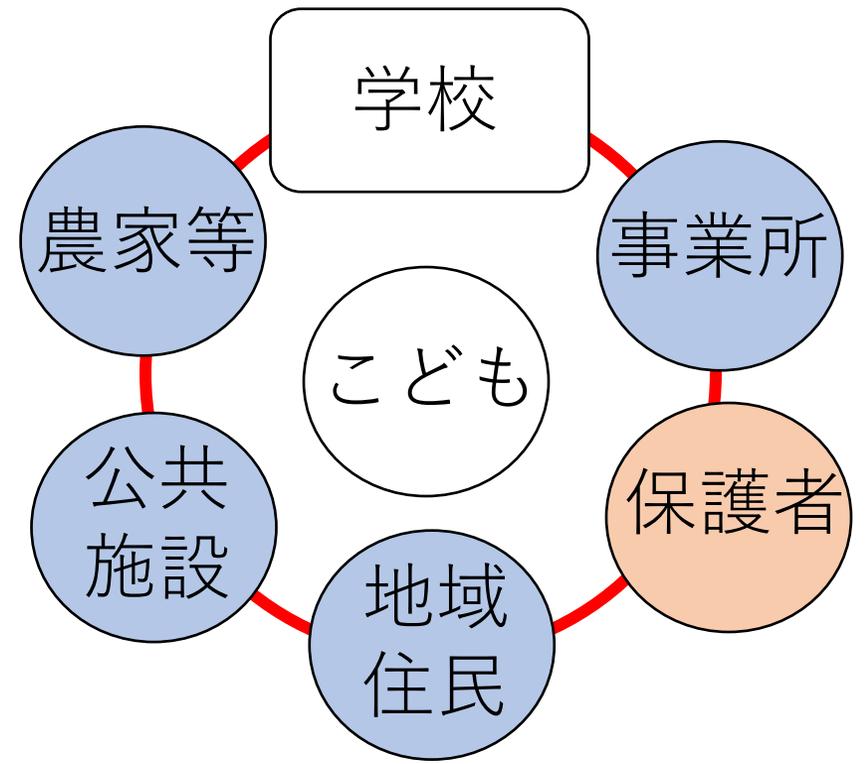
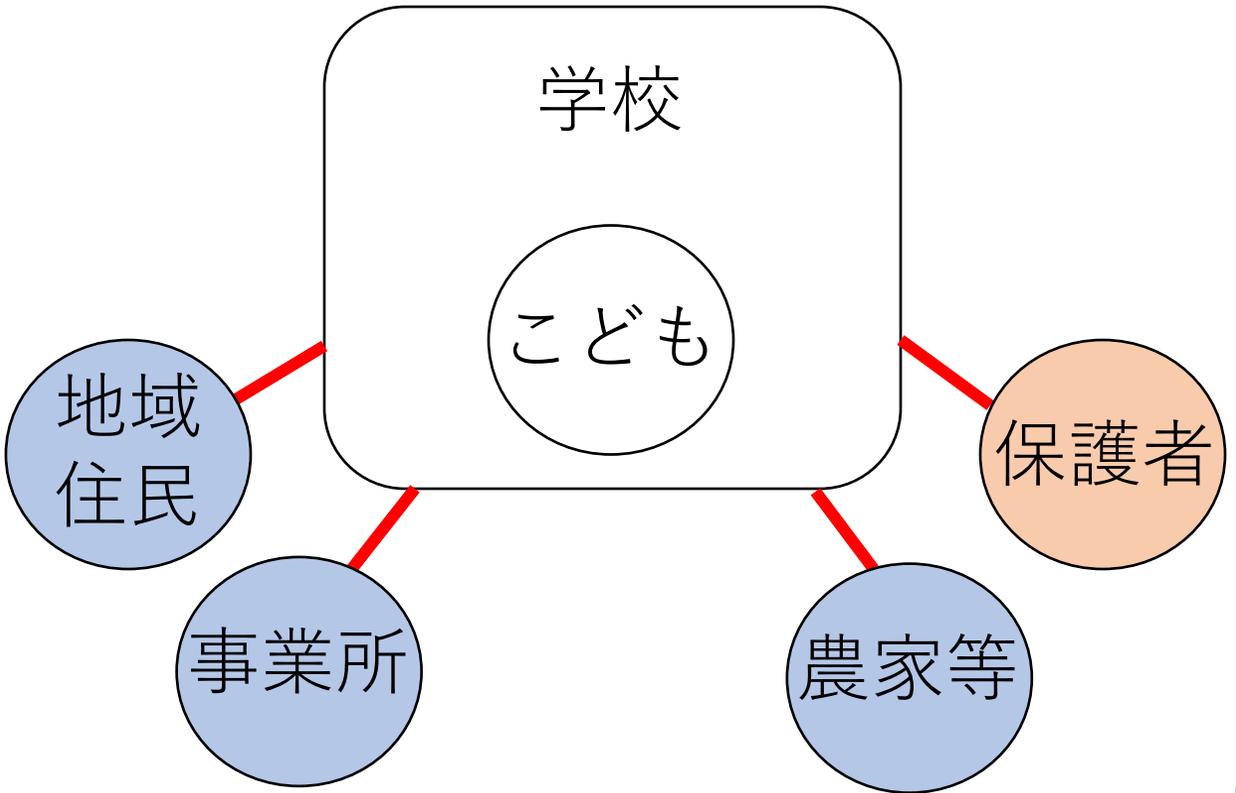
これまで

学校と保護者
学校と地域

別々に連携

これから

地域・保護者・学校が互いに
協力しあって子どもを支える



地域学校協働活動

子供だけの学びではなく、**コミュニティ・スクール**が全世代型学び空間を学校に

・コミュニティ・スクールの理想的な姿

- 地域を教材にし、子供の学びが地域住民の地域関心を高めて改善へ
- 地域には必ず課題がある。
- その課題を子供の課題解決の課題としていく。
- 大人も一緒に本気で考え 子供が出した理想的考えを大人が実現に向けて取り組む。
- 地域を変えていく力は、未来社会を変えていく力になるという、教育は人材育成という意識を持つ

小さな変化を子供が実感し、成長し、社会を変えていく力になる

なんちゃって コミスクにならないために・・・

経営方針＋学校課題＋育む資質・能力を共有することが大切

カリキュラムベースで地域と共有し 地域と共に教育活動を行う

教育という仕事を一言でいうと

子供の**今**を育てつつ
未来を創る仕事

地域の**今**を学習材にして
将来活用できる力に。

未来の地域人材に、
地域経済のプラスに・・



これから50年をかけて行う

みんなで創る魅力ある学校

- 教育という営みの社会的な価値観を 未来社会を創る営みと認識する
- それに携わる教員の条件と育成指針をさらに明確にする
- 未来社会を創る仕事を行う教員の報酬を確実に上げる
- 学校は子供のみならず、大人が学びなおす機関として再構築していく
- 学校に様々な人々が集まり、自ら学びながら子供たちを育む、地域体制づくりを行い、その中で人々が仕事の良さや 仕事のやりがいを伝え、生きる目的を認識でき、学びと経済と人生をつなげていける
- 「社会を変え、社会を創り、社会を創りかえる力」を育む学校
- 今までの学校は経済活動から切り離れていたが、子供が自らのキャリアを創っていく場としては、学校の活性化が地域と地域経済の活性化につながる、そんな学校経営（教育課程の編成）が必要になってくる。
- これは、現行学習指導要領が求める力を育むベースでもある。